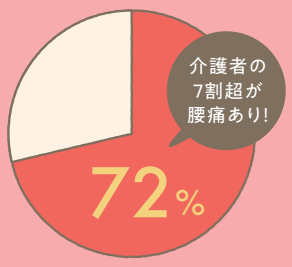
SAFECARE
抱え上げない介護 滋賀 SHI－GA

「抱え上げない介護」は施設・在宅を問わず、介護する側・される側のどちらにも優しい「抱え上げない、持ち上げない、引きずらない」介護の取り組みの総称です。身体に負担のかかるケアの見直しと、安全で快適に働くことのできる職場づくりに組織全体で取り組むことにより、介護現場の働き方を変えます。滋賀の縁創造実践センター 社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会（県社協）では、この「抱え上げない介護」の取り組みをひろめるための事業を行っています。

抱え上げない介護が滋賀の未来を変える！

介護者の腰痛を予防！

介護・福祉・医療の現場では腰痛を抱える職員が多く、滋賀の将来を支える介護人材の確保を考える上で大きな課題になっています。力に頼った介護を見直し、負担を軽減し職場環境を改善することで、職員の定着確保を目指します。もちろん、在宅介護でも有効です！



特養・障害者入所施設職員の 71.5%が腰痛有。（令和 2 年度「介護現場の環境改善に関するアンケート調査－介護職員の腰痛と福祉用具・機器活用の実態調査－」びわこリハビリテーション専門職大学・県社協共同実施）

抱え上げない！

介護リフトは
ゆとりがあって安心。
感染予防にもなります！

利用者の痛みや不快感などの負担を軽減！二次障害を防ぐ！

力に頼った介護は利用者への二次障害（拘縮や褥瘡等）の原因にもなります。身体の正しい使い方や適切な福祉用具の活用など、安全で快適な職場環境づくりが、介護の質の向上にもつながります。

持ち上げない！

首を抱えての持ち上げは
身体への負担が大きい！
起き上がりはベッドの背上げで！

引きずらない！

ベッド上での移動は
すべりのよい
スライディングシートを
活用しよう！

つまり、
抱え上げない介護は
みんなにやさしい！
もちろん、おうちでも！

ひたすらなるつながり
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

滋賀の縁創造実践センター
社会福祉法人
滋賀県社会福祉協議会
滋賀県福祉用具センター

〈お問い合わせ〉
TEL・077-567-3907
HP・http://www.shigashakyo.jp/yogu/

SAFE CARE SHI-GA

抱え上げない介護を 滋賀のあたりまえの介護に!

抱え上げない介護推進事業

事業の内容

1 抱え上げない介護実践事業所創成研修(実践をつくる・高める)
組織全体で取組む体制づくり

2 抱え上げない介護推進事業所推奨(実践をひろげる)
研修を修了し、取組が定着した事業所を推奨

県内初! 抱え上げない介護推進事業所 推奨決定!

甲賀市立介護老人保健施設 ケアセンターささゆり

背景と目的

理想の介護を夢見ながらも、日々の業務に追われ、心身ともに疲弊する職員たちが、理想逃避という「現実」から少しでも抜け出したい!もっと心も身体も楽になる職場で働きたい!!という思いから、組織改革&業務改善を目的に「抱え上げない介護」の推進委員会が発足。

取組内容

- 職場の理念を見直し、「持ち上げたり抱え上げたりしません」を含んだ「絶対しません宣言(10ヶ条)」を全職員で作成。
- 組織として問題を抽出し、解決してくためのリスクマネジメントを徹底。
- 在籍職員、新人職員のための「抱え上げない介護教育プログラム」を作成。
- 福祉用具(スライディングシート・スライディングボード・スタンディングリフト・走行リフト)を導入。
- 年に2回、職員の健康調査を行い、心身の状態を把握し業務改善につなげる。等

取組の効果等

- 抱え上げない介護で、職員も利用者も、身体的・精神的に負担が軽減。
- 腰痛者が取り組み前に比べ減少し、職員が環境や動作・姿勢を問題視できるようになった。
- 取り組み前は個人の主張が目立ち、問題が溢れていたが、チームとしての目的やルールが定まったことで、問題を仕分けし、対処だけでなく予防ができるようになった。

これからも『抱え上げない介護』が
滋賀のあたりまえの介護になるようにがんばります!

株式会社 JA ゆうハート 水口ヘルパーステーション

背景と目的

在宅ケアで抱え上げない介護を浸透させるには、本人・家族・ケアマネージャーに説明し、納得の上でケアプランに反映させる必要があるため、根拠をもち「抱え上げない介護」の必要性を伝えられるようになりたいという思いからこの事業に参加。

取組内容

- リスク把握や職員の腰痛調査から身体面と精神面の課題を分析し、面談を実施。
- ケアの場面を動画に撮り、担当者間で確認、原因を分析して対応を検討。
- 職員自身の身体の動かし方を研修で学び直し、習得できているか確認する。
- 利用者の生活と状態に合った福祉用具の提案・導入と環境整備を実施。
- すべての動作、ケアに「抱え上げない介護」を意識づけるためのカンファレンスシートを作成。等

取組の効果等

- 職員の腰痛が減少し、抱え上げない介護でケア時間が短縮され、余裕のある介護の実践に繋がっている。
- 利用者自身もできることが増え、前向きな発言や気持ちの変化が見受けられたため、家族への介護方法やケアプランへの提案が根拠をもちできるようになった。
- 職員が、ケア場面でいろいろな発見が出来るようになり、仕事を楽しめるようになった。

『抱え上げない介護』で在宅での暮らしを
支えていけるよう、これからもがんばります!